

持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言 ～自然との共生による「ウェルビーイング」の実現～



脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガス排出の低減対策をはじめ、エネルギーの地産地消を目指した取組を進めます。

カーボンニュートラル

…温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させて、実質ゼロにすること。

ウェルビーイング

…個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること。

カーボンニュートラルで目指す町の未来

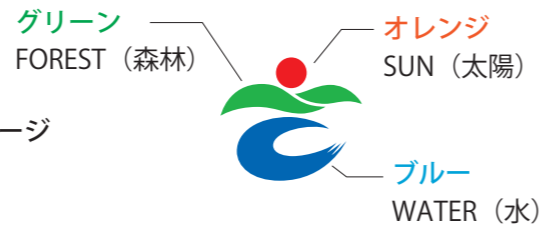
本町の2013年の排出量21.4万tCO₂※から、2030年までに46%にあたる9.8万tCO₂の削減を目標とし、2050年までに「実質ゼロ」とする。 ※出典：環境省 自治体排出量カルテ

推進する施策

- 豊かな森林環境の保全
- 再生可能エネルギーの活用
- 省エネルギー活動の促進
- 脱炭素型まちづくりの推進
- 地域産業の脱炭素型の推進
- 循環型社会の推進
- 環境意識の向上

取組の方向性

▶ 町章に使われている3色をイメージ



オレンジカーボンニュートラル

太陽光や電気への転換などの再生可能エネルギーの活用や、省エネルギーの推進による事業の展開。

グリーンカーボンニュートラル

森林環境の活用などによる事業の展開。

ブルーカーボンニュートラル

水資源や温泉、水素などの活用による事業の展開。

ホワイトカーボンニュートラル (赤緑青の混合色)

3つの取組を進めていくための必要な環境づくりや、町民や地元企業への周知・啓発による事業の展開。

■お問い合わせ先

SDGsに関すること
企画政策課 企画政策係 (内線 2224)



カーボンニュートラルに関すること
町民環境課 環境係 (内線 2127)



SDGs × 脱炭素

住み続けられるまちづくりに向けて宣言しました

9月22日、町では「希望輝く さつま町SDGs推進宣言」と、「持続可能な未来づくりカーボンニュートラル さつま町宣言」を行いました。SDGsとカーボンニュートラルの実現には、行政だけでなく、町民、企業、学校、団体など、まちぐるみで取り組んでいくことが欠かせません。

ひとつひとつ、まずはできるところから始めてみませんか。

希望輝く さつま町SDGs推進宣言

「誰一人取り残さない」持続可能な地域社会の実現と、希望輝くまちの未来に向け、SDGsの理念を理解し、町民や企業・団体、学校などと連携して、SDGsを推進します。

SDGs (Sustainable Development Goals)：持続可能な開発目標

…「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会の実現を目指す、世界共通の目標。



SDGsで目指す町の未来

人と地球環境にやさしいまち

地球温暖化対策への取組による脱炭素社会の構築 など



再生可能エネルギーを活用した分散型エネルギー社会を実現するまち

多様な再生可能エネルギーの自給率向上 など



多様な人々が共生する社会、ジェンダー平等を実現するまち

町男女いきいきしあわせプランに基づく男女共同参画社会の実現 など



清らかな川や田園風景、鮮やかな緑など、自然と人が共生するまち

地域などによる環境美化・保全活動の推進、環境意識と行動意欲の向上 など



町民・事業所・学校・団体・行政が一体となってSDGsに取り組むまち

パートナーシップによる経済・社会・環境が循環する持続可能なまちの実現と行動意欲の向上 など

